



2013-6
Final



2012-2013

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2640



RI会長メッセージ

ガバナーメッセージ

ガバナー補佐として
ガバナー補佐 雪本孝治

「大らかに」
ガバナー補佐 高橋重明

ロータリー財団ニュース

お知らせ

RI会長賞受賞クラブのお知らせ
ロータリー世界平和フォーラム
ライラセミナー生レポート

国際ロータリー第2640地区

2012-2013年度ガバナー 北中 登一

590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号

TEL:072-224-2640 FAX:072-224-2650

<http://www.rid2640g.org/kitanaka/>

2012-13年度 国際ロータリー会長

田中 作次

リスボンで「平和」を考えよう

朋友ロータリアンの皆さん、国際ロータリー（RI）の国際大会は、大きな力を持ったイベントです。初めて参加した国際大会での経験を忘れる人はいないでしょう。

ロータリーというものを教えてくれる国際大会

私が初めて参加した国際大会は1980年のシカゴ大会でした。私はその年、八潮ロータリークラブの会長でした。もっとロータリーについて学ばなければならないと考え、シカゴ大会に参加するようクラブの会員9人を誘って、みんなでシカゴへ行きました。RI国際大会とはどんなものなのか予想のつかないまま参加しましたが、そこで見たものは想像をはるかに超えるものでした。

その国際大会が、私にロータリーというものを教えてくれました。そして、私の人生を完全に変えました。クラブに、「がんばろう」という気持ちを与えてくれました。あの国際大会に、私はクラブの一会員として参加し、ロータリアンとなって帰ってきました。シカゴで受けた感動は、今でも私の心に深く残っています。

ポルトガルと日本との友好関係

日本出身のRI会長として、ポルトガルで開かれる国際大会に参加できることをとてもうれしく思います。ポルトガルと日本は、1542年以来、歴史を共に築いてきました。その年、一隻のポルトガルの船が、日本の南部にある島に漂着しました。ポルトガルの船員たちは日本に来るつもりはありませんでしたが、嵐で遭難してしまったのです。しかし、これはうれしい偶然でした。この偶然が、平和的で豊かな関係の始まりとなったのです。

1993年、日本とポルトガルは、交流450周年を祝いました。ポルトガルは、16世紀半ば、日本人が初めて訪れたヨーロッパの国でした。それ以来、長きにわたって、ポルト

ガル語は、わが国に影響を残しています。

「平和の港」リスボンで会いましょう

ポルトガル人が日本を見つけたのは、偶然の出来事でした。しかし、国際大会の地としてリスボンが選ばれたのは、偶然ではありません。リスボンは「平和の港」です。そして「平和」は、500年近くの間、日本とポルトガル間のテーマとなってきたように、この国際大会のテーマでもありません。

私たちはロータリアンとして、さまざまな方法で平和を目指して活動します。人道的奉仕を通じて、そして超我の奉仕への信念を通じて、平和を目指します。また、私たちは、それぞれ個人として平和を推進します。毎年、RI国際大会に集まる時、数日間、私たちは世界の理想像を目の当たりにします。さまざまな皮膚の色や文化を持つ人々が集い、より良い世界を築くために協力するのです。

世界のロータリアンと共に、今年度のテーマ「奉仕を通じて平和を」実現する取り組みを、私と一緒に続けていただけるよう願っております。

SAKUJI TANAKA

田中作次



2012-13年度 第2640地区ガバナー

北中 登一

白駒の隙を過ぐるが如しと言うが、早いものであと一か月足らずで今年度の幕は閉じ、再び新年度が始まる。あっという間の一年間であった。お釈迦様の歩かれた後には、美しい花が咲いたという。自分の歩いたこの一年、それなりに精いっぱい道のりではあったが、そこにはいったいどんな花が咲いたか、どうやらお釈迦様のようにはいかなかったように思う。それでも静かに振り返り、時に感無量である。

当初全クラブを訪問するに当たり、暑い時期でもあり、心筋梗塞の後遺症もあって、一抹の不安があった。しかし、考えたのである。全クラブを訪問させていただけるなんて、まさに千載一隅の機会ではないか。この機会を逃すと一生不可能ではないかと。朝に道を聞かば、夕に死すとも可なりという。人間死ぬときは死ぬ。よし、みんなに会いに行こう。賽は投げられたのである。

今年度 RI 会長、田中作次氏の掲げたテーマは「奉仕を通じて平和を」である。平和とは何か、改めて考える良き機会を得た。クラブ訪問では、聖徳太子の憲法第十七条の第一、和を以て貴しとなすを基本に、日本人の根底に流れる和の精神についてお話をした。

クラブ訪問に際しては、七人のガバナー補佐、地区代表幹事・副代表幹事をはじめ、ホストクラブの面々が、全面的にバックアップしてくれた。無事に73クラブ訪問し終えたのも、この方々のお蔭である。研修リーダーの米田パストガバナーにも、折に触れ、良き指導をいただいた。ここに改めて心から御礼申し上げたい。クラブ訪問中に気付いた事であるが、お互い胸襟を開いて話し合えば、理解しあえるという事であった。

また、ガバナーの特権である、各クラブの週報を読ませていただいた。週報を通じて感じた事、もちろんクラブにより多少の温度差はあるが、機知にとんだ会長の挨拶、社会の第一線で活躍中の人々を招待しての例会、各クラブの創意工夫がひしひしと伝わってきた事である。そんな意味でとても良い勉強をさせていただいた。

ロータリー活動を続けていくうえで何が大事か、言うまでもなく、リベラルアーツを身につける事であるが、皆様方は毎週の例会で実践されていたのである。引き続き、ご活躍されますようご祈念申し上げたい。

世界平和を希求する田中作次 RI 会長の最後の締め括りとして、ベルリン、ハワイに次ぐ広島において、5月17日、18日世界平和フォーラムが開催された。開会式ではジアイ元会長が司会進行、田中 RI 会長、財団管理委員長、事務総長の挨拶の後、中国新聞社社長、広島県知事と市長の鼎談があった。何故原爆がドイツの都市ではなく、広島や長崎に落とされたのか、いくら戦争といえども使ってよい兵器とそうでない兵器があるとすれば、何故原爆という無差別殺人兵器が日本にだけ投下されたのか、そのあたりの国際問題まで突っ込んで議論すべきではなかったかと思う。

さて、次年度に向けての第一歩となる地区協議会が、5月19日の日曜日、無事終わった。

ポルトガルはリスボンで開催される国際大会で有終の美を飾れば、2012～2013年度の幕は閉じる。会員の皆様には大変お世話になりました。もう一度心から御礼申し上げます。そしてことあるごとに申し上げてきました、健康が奉仕の原点であると。くれぐれも健康にはご留意ください。



ガバナー補佐
雪本 孝治
(岸和田東RC)



本年度、北中登一ガバナーよりガバナー補佐を拝名いたしました。補佐として色々戸惑いもありましたが、今、改めて受託したその職務の重要性と責務に身の引き締まる思いであります。

RI テーマ「奉仕を通じて平和を Peace Through Service」、RI2640 地区方針「奉仕を通じて幸せを Happiness Through Service」、地区キーワード「ロータリーの原点に帰ろう」、この3つの言葉を頂いております以上、ガバナー補佐としての役目をしっかり果たしたいと思い、私なりに目を通したのは手続要覧です。

正会員の義務として、入会金と会費の支払いがあります。正会員となるには、入会に先立ち、所属ロータリークラブに入会金を納入しなければなりません。その後、正会員としての資格を保持するには、入会以降会員身分が終結するまで、会費を支払う義務があります。会費の中には、国際ロータリー理事会の指定する雑誌購読料を含むものとして（RC 定款第 14 条）。日本における地域的な雑誌はロータリーの友です。なお、クラブは年齢 35 歳未満の会員の会費と入会金を免除することができます。さらにクラブは、この新会員のために地区会費を負担することができ、また、地区は地区協議会あるいは地区大会での決定により、この新会員の地区人頭賦課金を減額することができます（ロータリー章典 5.040.2.）。会員増強にも役立ててください。

次にロータリーの定款に私自身大切に重要視しておりますのは、「綱領（目的）の受諾とクラブ定款・クラブ細則の遵守」であります。

ロータリーの目的の本質は、会員個人による奉仕の理想の実践を受諾し、個人が日常生活の中にその精神を具現することで、定款・細則の遵守と相伴って自分自身はもとより他の人達に共感を与え、ロータリーの心を啓蒙することです。その共感によって、ロータリークラブ会員としての適格者を選び出し、会員に推薦することでロータリーの拡大に尽力する義務もあることを、個々のロータリアンは認識すべきであります。

次に「例会出席の義務」があります。

会員は毎週開かれる例会に出席する義務があり、ロータリー年度の半期ごとにメイクアップを含む出席率が少なくとも 50%以上、またホームクラブでは 30%以上の出席をしなければなりません。いずれの例会であっても充当された時間（日本では概ね 1 時間）の 60%は会場に留まらなければなりません（RC 定款第9条第 1 節および RC 定款第 12 条第 4 節に記しております）。

先に申し上げた綱領の中に示された、ロータリアンの原則を受諾した会員は正会員としての特典、

- ① 国際ロータリーの徽章・バッジその他の記章の着用が認められる。
- ② 世界のロータリークラブに自由に出席することができる。
- ③ 所属クラブのあらゆる会合、所属地区諸会合、国際大会等の出席、参加ができ、世界のロータリアンと友人になる機会が得られる。
- ④ ロータリークラブの職業分類を代表して選ばれた正会員は、奉仕の理想を推進するそれぞれの会員が自身の職業を通じて社会奉仕の機会が生まれる。

以上、参考にしていただければ幸いです。あと残す所 1 ヶ月間ですが、各クラブが効果的になるための援助が私の責務です。

ガバナー補佐

高橋 重明

(大阪金剛RC)



私の職業はコンピューターのシステムズ・エンジニアでした。企業のシステム化で数多くの業種の方にお会いしました。かつトップの方から現場の方まで多くの人にお会いしました。しかしロータリーに入るともっと多くの職業の方にお会いすることが出来、かつ素晴らしい方が多く、大いに勉強になっています。しかし当2640地区は数年前の後継者問題でぎくしゃくし、何とか鎮静出来る事、昔から現代まで枚挙にいとまがなく、芝居にまで取り上げられています。当地区は南北朝時代にゆかりがあるところですが、南北朝時代を再現させてはいけません。如何に解決し素晴らしい2640地区にすることが出来るか、今こそロータリー精神を発揮する時だと思えます。問題が発生すると規定がどうなっているかが議論されますが、ロータリーは全世界で展開されているので、どうしても規定が必要なのは理解していますが、あまりに規定にこだわり過ぎてはいないでしょうか。重要なことは、最終のゴールは何かであり、真剣に考えれば、自ずからどう行動すれば良いか分かってくると思っています。昭和30年製作された「警察日記」を最近見ました。森繁久弥さんが巡査役、二木てるみさんが子役で出演した映画でご覧になられた方も多いと思います。先ごろ亡くなられた三國連太郎さんも出演しています。母親に捨てられた二人の子供の対応でも姉は巡査の森繁が預かり、乳飲み子の弟を旅館が面倒をみたりと、規則・規則とがなじがらみの現在とは違い、大らかで人情にあふれた時代があったのかと感動させられます。正にロータリー精神とはこのようなのではないかと思っています。青少年交換学生、米山記念奨学生、インターアクター、ローターアクター等受益者の方々のことも考えていただければ、おだやかな地区に成れると確信しています。

10月22日地区大会記念ゴルフ大会が晴天のもと天野山カントリークラブで開催されました。44クラブ172名の皆様にご参加いただきました。かつ23名のスタッフの皆様には早朝からご支援いただきました。実行委員長として改めて御礼申し上げます。9月末の会員数が2154名ですので、約8%の会員が参加したことになります。ところで、お金の話しですが、実はゴルフ大会には地区からお金は出ません。参加された皆様の登録費で賄わなければなりません。大きい大会の場合、案内状の印刷代や看板代等の費用が発生し、参加者への還元金額を少しでも多くするのにどうすればよいか、非常に苦労しました。もし地区大会をゴルフ大会のように参加登録制にすれば、予算が成り立たず開催が非常に困難になると思います。地区大会には全会員が参加し、最後まで誰も席を立たないことが私の願いです。ロータリーには素晴らしい人であふれています。自分のクラブに留まらず、大いに交流しようではありませんか。

10月22日地区大会記念ゴルフ大会が晴天のもと天野山カントリークラブで開催されました。44クラブ172名の皆様にご参加いただきました。かつ23名のスタッフの皆様には早朝からご支援いただきました。実行委員長として改めて御礼申し上げます。9月末の会員数が2154名ですので、約8%の会員が参加したことになります。ところで、お金の話しですが、実はゴルフ大会には地区からお金は出ません。参加された皆様の登録費で賄わなければなりません。大きい大会の場合、案内状の印刷代や看板代等の費用が発生し、参加者への還元金額を少しでも多くするのにどうすればよいか、非常に苦労しました。もし地区大会をゴルフ大会のように参加登録制にすれば、予算が成り立たず開催が非常に困難になると思います。地区大会には全会員が参加し、最後まで誰も席を立たないことが私の願いです。ロータリーには素晴らしい人であふれています。自分のクラブに留まらず、大いに交流しようではありませんか。

❖❖❖ 新入会員のご紹介 ❖❖❖



北垣 剛
きたがき つよし

所属クラブ：御坊東
職業分類：自動車整備
生年月日：1972年9月10日



森 裕之
もり ひろゆき

所属クラブ：御坊東
職業分類：郵便局
生年月日：1961年11月19日



乾 士郎
いぬい しろう

所属クラブ：羽曳野
職業分類：商業銀行
生年月日：1968年11月19日



奥村 嘉英
おくむら よしひで

所属クラブ：橋本
職業分類：産婦人科医
生年月日：1958年3月31日



村山 榮男
むらやま しげお

所属クラブ：橋本
職業分類：ゴルフコース
生年月日：1943年8月30日



田川 幸子
たがわ さちこ

所属クラブ：岸和田東
職業分類：教育保育園
生年月日：1973年3月15日



赤間 潤志
あかま じゅんし

所属クラブ：堺
職業分類：国際ホテル
生年月日：1966年5月15日



浅井 壽郎
あさい としろう

所属クラブ：堺東南
職業分類：葬祭業
生年月日：1947年10月3日



佐藤 陽一
さとう よういち

所属クラブ：泉州KUMATORI
職業分類：不動産業
生年月日：1950年7月16日



中原 啓介
なかはら けいすけ

所属クラブ：和歌山城南
職業分類：コンピューター
生年月日：1965年9月8日



大塚 修二
おおつか しゅうじ

所属クラブ：和歌山南
職業分類：ホテル
生年月日：1955年5月24日



藤本 竜太
ふじもと りゅうた

所属クラブ：Rotary E-Club
Sunrise of Japan
職業分類：証券



山本 賢
やまもと まさる

所属クラブ：Rotary E-Club
Sunrise of Japan
職業分類：病院

❖❖❖ PHF・MPHF・ベネファクター 認証者 ❖❖❖

2013年4月

F・・・ポール・ハリス・フェロー 数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー BE・・・ベネファクター

Club	Name	
Osaka Kongo	Kazuo Kamado	F
E-Club Sunrise of Japan	Tsutomu Susami	F
Sakai South	Kiyoshi Tadaoka	3
Izumiotstu	Masato Kawakami	1
Osaka-Sayama	Toichi Kitanaka	7
Taishi	Teiji Miyawaki	4
Gobo	Ryoichi Shioji	BE



クラブ	氏名	表彰名
岸和田南	田中 俊三	第3回 米山功労者マルチプル
堺西	嶽盛 和三	第13回 米山功労者メジャードナー
堺西	濱口 正義	第44回 米山功労者メジャードナー
泉大津	林 巖	第5回 米山功労者マルチプル
有田南	長崎 靖彦	第6回 米山功労者マルチプル

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 表彰制度

個人の表彰

- ・特別寄付金の累計額が対象です
- ・準米山功労者（対象者：累計額 3 万円）が復活しました
- ・累計額 100 万円未満は 10 万円ごとに感謝状、100 万円以降は 10 万円ごとの感謝状に加え、100 万円ごとにピンバッジ（400 万円以上はクリスタルの盾）が贈られます

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回 米山功労者	感謝状【青色】
20万円	第2回 米山功労者 マルチプル	感謝状【銅色】
30万円	第3回 米山功労者 マルチプル	感謝状【銅色】
↓	↓	〃
60万円	第6回 米山功労者 マルチプル	感謝状【銀色】
70万円	第7回 米山功労者 マルチプル	〃
↓	↓	〃
100万円	第10回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】 +ピンバッジ（ルビー）
110万円	第11回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】
↓	↓	〃
200万円	第20回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】 +ピンバッジ（エメラルド）
210万円	第21回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】
↓	↓	〃
300万円	第30回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】 +ピンバッジ（ダイヤモンド）
310万円	第31回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】
↓	↓	〃
400万円	第40回 米山功労者 メジャードナー	感謝状【金色】 + クリスタルの盾
400万円以上	10万円ごとに表彰されます。	10万円ごとに感謝状、100万円ごとにクリスタルの盾をお贈りいたします。

法人の表彰

- ・特別寄付金の累計額が対象です
- ・準米山功労法人は、5 万円以上 35 万円未満から、5 万円以上 50 万円未満へと変更されます
- ・米山功労法人は、35 万円毎の表彰ではなく、50 万円の 1 回のみとします

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円	米山特別功労法人	感謝状もしくは盾（選択可）
以降100万円毎	〃	〃

クラブの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状（初回のみケース付）
1000万円毎 ※1	達成クラブ	感謝状（額付）
	クラブ創立記念特別寄付	盾（10万円以上）

※1 普通寄付金と特別寄付金の合計額

（公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 HP より）





多様なニーズに応える新地区補助金プロジェクト

インドの地区（試験地区）では、新地区補助金を利用して、きれいな水を提供するプロジェクトや太陽光によるエネルギー供給プロジェクトを行い、人々の生活に大きな影響を与えることができました

ムハマド・ユヌス氏が米国議会から表彰を受ける

この度、バングラデシュをはじめとする各国で貧困緩和に貢献したグラミン銀行創設者のムハマド・ユヌス氏に、米国の議会名誉黄金勲章が授与されることとなりました。授賞式は4月17日にワシントンD.C.で行われました。ユヌス氏の活動、マイクロクレジット、ソーシャルビジネスについては「Bonsai People」をご覧ください（「Bonsai People」

リソース

グローバル補助金の申請方法についての新しいEラーニングリソース

このモジュールは learn.rotary.org から、「未来の夢：会員アクセス -- 補助金の申請」コースを選択してご利用いただけます。

ロータリー補助金の新しいサイト

ロータリー財団の新しい補助金モデル、参加資格認定手続きの完了、補助金の申請には、ロータリー補助金のサイトをご利用ください。このウェブサイトをご利用いただくには、まず会員アクセスにアカウントを作成する必要があります。

補助金管理の手引き

この手引きは、ロータリーのオンラインショップ (shop.rotary.org) でご注文いただけるほか（1部1ドル）、電子版を無料でダウンロードすることができます。

移行へのスケジュール

すべての地区とクラブは「2013-14年度に導入される補助金に向けて地区が準備をするために」または「2013-14年度に導入される補助金に向けてクラブが準備をするために」を参照することが奨励されています。

（ロータリー補助金ニュース 2013年5月より抜粋）



ハイライトよねやま158

1 寄付金速報 — 依然厳しい状況続く —

4月までの寄付金は前年同期と比べて1.1%増、約1,300万円の増加です。普通寄付金が2.6%増、特別寄付金が0.4%増となりました。前年同期をわずかながら上回っていますが、特に特別寄付金は2月以降伸び悩んでおり、4月も、直近5年間では2番目に低い金額となりました。

毎月ホームページで公表している「寄付金納入明細表」には、特別寄付金の寄付者数と寄付者割合が掲載されています。地区・クラブ会員のうち、どのくらいの方が寄付をしているかを示す数字です。できるだけ多くの方からご協力いただくためにご活用ください。また、普通寄付金の下期分も早めにご送金くださいますようお願い申し上げます。

2 博士号取得状況 — 卒業後も申請可能 —

今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が届いています。2012学年度（2012年4月～2013年3月）に博士号を取得した奨学生・学友は42人、累計では3,394人です（5月10日現在）。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計（裏に氏名の刻印あり）をお贈りしています。すでに奨学期間を終了した学友も申請できますので、事務局まで報告をお願いします。※発送は国内のみ



申請方法 「学位記の写し」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXまたはメールでお送りください。（FAX: 03-3578-8281/メール: scholars@rotary-yoneyama.or.jp）

3 台湾学友会が台湾美化協会の清掃活動に協力

4月20～21日、台湾美化協会（台湾を美しくする会）の第11回年次大会が開催され、台湾米山学友会のメンバーや家族、同学友会が支援する日本人奨学生ら22人が、通訳ボランティアなどで活躍しました。

台湾美化協会とは、米山学友の徐重仁さん（1976-77/平塚RC）が、日本のNPO法人「日本を美しくする会」の活動と掃除の哲学に感銘を受けて2003年に創立したもので、年次大会には毎年、台湾人だけでなく、日本人も大勢参加します。特に今年の年次大会は、徐さんが社長を務めていた「統一超商」のCSR部門から独立して初の年次大会とあって、さらにこの活動を盛り上げようと、150人もの日本人が台湾へかけつけました。米山学友らは日台の参加者が交流する大会懇親会や清掃活動において、双方の橋渡しとして活躍しました。



徐さんは、「学友会メンバーの手助けがあったからこそ、今年の年次大会も成功裡に終わった。本当にありがたい」と、仲間への感謝を述べました。また、大会の準備段階から関わった米山学友・阮偉倫さん（2005-06/神戸RC）は、「少しでも大会の成功に貢献できて光栄です。米山学友たち皆の力で、日台の参加者同士が結束を強めることができた。今後もさまざまな形で日台交流に貢献したい」と大役を終え、ホッとした様子で語りました。

徐さんは、「学友会メンバーの手助けがあったからこそ、今年の年次大会も成功裡に終わった。本当にありがたい」と、仲間への感謝を述べました。また、大会の準備段階から関わった米山学友・阮偉倫さん（2005-06/神戸RC）は、「少しでも大会の成功に貢献できて光栄です。米山学友たち皆の力で、日台の参加者同士が結束を強めることができた。今後もさまざまな形で日台交流に貢献したい」と大役を終え、ホッとした様子で語りました。

4 第 2740 地区に米山学友会が誕生！

5月8日に開催された常務理事会で、国内・海外合わせて35番目となる第2740地区（長崎・佐賀）米山学友会の設立が承認されました。九州全域をカバーしていた「九州米山学友会」から2008年に分かれて誕生した「第2730地区（鹿児島・宮崎）米山学友会」に続き、九州では3つ目の学友会となります。

昨年4月7日開催の学友会設立総会で、初代会長に選ばれた官^{グワンジャン}家興さん（台湾／1993-95／佐世保西RC）は、「これから米山奨学生のネットワークづくり、そして、社会奉仕と平和活動に対する啓発教育と実践に取り組んでいきたい。米山奨学金の真の目的と大切さを、学友のみんなと再度共有できれば幸いです」と、抱負を語っています。



5 新モンゴル高校を安倍首相夫人が訪問

3月30日、モンゴルの日本式高校「新モンゴル高校」を安倍晋三首相夫人、昭恵氏が訪問。同校を設立し、理事長を務める米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99／山形北RC／第3450地区フレールRC会員）をはじめ、同校生徒たちの熱い歓迎を受けました。

「生徒たちとの交流を、昭恵夫人もとても楽しんでおられたようでした。交流会で頂いたごあいさつや、生徒からの質問に対するお答えは素晴らしかったです」と、語るジャンチブさん。

昭恵氏との懇談では、ロータリー米山記念奨学事業についても説明し、日本のロータリアンの支援が学業を支え、母国モンゴルに国際標準の学校をつくるという夢の実現を後押ししてくれたことを、感謝とともに伝えたとのこと。



おしらせ

中国・四川省で4月20日に大地震が発生し、多数の犠牲者と被害が出たことに心よりお見舞い申し上げます。当会では、現住所もしくは勤務先が四川省に登録されている米山学友10人へ安否確認・お見舞いメールを発信しましたが、現在のところ、被害報告はありません。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの著書より(2)

- ◎「ガバナー読本」直木太郎 1973 40p
- ◎「ロータリー・ニュース1983年-85年」直木太郎 神戸R.C. 1985 98p
- ◎「童心に学ぶ『ロータリーの本質』」中山義之 川崎幸 R.C. 1994 11p
- ◎「ロータリーの追続けるもの-米山梅吉の夢は」中山義之 1998 20p
- ◎「ロータリーにおける革新と保守について」中山義之 1999 41p
- ◎「ロータリーの国際性について」中山義之 1999 16p
- ◎「ロータリーの職業奉仕の概念と各論について(職業奉仕研修会記録)」深川純一〔1997〕56p
- ◎「職業奉仕論ノート」深川純一〔1998〕60p
- ◎「ロータリー学入門-クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕」深川純一・田中毅 D.2680 2003 89p
- ◎「素晴らしい出会い よき師、よき友は人生の宝(1)」戸田孝 2006 207p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

RI 会長賞受賞クラブのお知らせ

RI 会長賞が決まりましたのでお知らせいたします。

2012-2013 年度会長賞は、充実したクラブをつくり、効果的な奉仕活動を行い、公共イメージを向上するさまざまな活動を実施したクラブを表彰するために設けられた賞です。受賞資格を得るための必須項目として、クラブまたは地域社会での平和フォーラムの開催、あるいは平和に焦点を当てた奉仕プロジェクトの実施があり、さらに追加項目の中から必要最低数の活動を達成または完了することが求められています。

受賞クラブ様には心よりお祝いを申し上げ、表彰状をクラブ会長様宛に送らせていただきます。

2012-2013 年度 RI 会長賞 受賞クラブ

岩出 RC

堺フェニックス RC

堺フラワー RC

和歌山 RC

和歌山アゼリア RC

和歌山西 RC

RI「ロータリアン配偶者／パートナー奉仕功労賞」受賞のお知らせ

2012-2013年度「ロータリアン配偶者／パートナー奉仕功労賞」が決まりましたのでお知らせいたします。

この賞は、ロータリーを通じて模範的な人道的奉仕を行ったロータリアン配偶者／パートナーを称えるための賞です。毎年、100名までが本賞の受賞者として選ばれます。受賞者の選考は、RI会長により任命された役員が行います。個人的なボランティア活動と、ほかの人々を助けるための積極的な関与に重点を置き、ロータリーを通じて行った人道的奉仕が考慮されます。

受賞者様には心よりお祝い申し上げます。

RI「ロータリアン配偶者／パートナー奉仕功労賞」受賞者

上田興子氏

(受賞者の配偶者 上田俊夫氏 堺フェニックス RC)

RI「奉仕部門功労者賞」受賞のお知らせ

2012-2013年度「奉仕部門功労者賞」が決まりましたのでお知らせいたします。

ロータリー運動の力は世界中でクラブ会員が実施する奉仕活動にあることに照らし、本賞の目的は、各ロータリークラブが奉仕の五大部門において顕著な業績を挙げたクラブ会員を表彰することにあります。よって、この賞はクラブ内で顕著な功労のあった個々のロータリアンを表彰し、ロータリーの奉仕活動における個々のクラブ会員の積極的な関与に重点を置くロータリーの方針を強化することにあります。

受賞者様には心よりお祝申し上げます。

RI「奉仕部門功労者賞」受賞者

中井昭宏氏 (堺フェニックス RC)

自分自身から始まる平和を語り合った広島平和フォーラム

記事：Arnold R. Grahl

ロータリー・ニュース：2013年5月28日

5月17日、広島で開催されたロータリー世界平和フォーラムにあわせ、田中作次 RI 会長は、ロータリーや地元のリーダーと共に平和記念公演を訪れ、第二次世界大戦中に投下された原子爆弾によって命を落とした人々の慰霊碑に献花しました。その後会長は、広島平和資料館を訪問し、多くの世界のリーダーが名前を記してきたゲストブックに記帳しました。



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

日本人である田中会長（八潮ロータリー・クラブ会員所属）にとって、「平和」は重要な意味を持ちます。2012-13年度の RI テーマを「奉仕を通じて平和を」とした会長は、ロータリアンや一般の人々、特に若い人たちが日常生活を通じて平和を見つめる機会を提供するため、3回の平和フォーラムを主催しました。

広島平和フォーラムには、ロータリアン、地域のリーダー、学生やロータリー平和センター・プログラム（平和構築者を育成するためのプログラム）学友など、2,700人以上が参加しました。また、湯崎英彦広島県知事と松井一寛広島市長もパネル・ディスカッションに参加しました。

今回の広島フォーラムの前には、ベルリン（ドイツ）とホノルル（米国、ハワイ州）でも平和フォーラムが開催されました。いずれも、第二次世界大戦で甚大な被害を受けながら、現在は持続可能な平和の象徴となっていることから、平和フォーラムの開催地として選ばれました。

田中会長は、フォーラムの閉会の辞で次のように述べました。「一つひとつのロータリーのプロジェクト、一つひとつの奉仕が、愛と思いやりを育みます。適切な方法で、正しい理由のために奉仕すれば、平和と調和の中で、人々が一体となれるはずですよ」

行動への呼びかけ

フォーラムの参加者は、「平和はあなたから始まる」のコンセプトを下にした平和宣言を採択しました。この宣言は、日常生活における人々との調和や、国籍、政治、宗教、文化の隔たりを越えた友情を生み出すために、一人ひとりに行動を呼びかけるものです。

フォーラムの結びに田中会長は、「今日、最後となるロータリー平和フォーラムを後にする皆さまには、『平和』をどう定義するにせよ、それがロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解いただきたいと思います。平和は、政府間の協定や闘争だけで実現するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものでもあります」と述べました。

李東建ロータリー財団管理委員長エレクトは、韓国と日本の友好関係においてロータリーが果たす役割について講演し、隣国同士が協力しあいながら平和を達成することの重要性を強調しました。また、日韓のロータリアンが毎年参加する「日韓親善会議」についても触れ、このような親睦により両国間の平和という夢が実現されると述べました。

同じく閉会式でスピーチしたゲイリー・ホアン会長ノミニーは、「己の欲せざる事人に施す事なかれ」という文化や宗教を超えた概念を紹介した上で、ロータリアンは、超我の奉仕と平和の礎を築くことでこれを実践していると述べました。また、「私たちは、地域社会で平和を築きながら、世界の平和を実現する。友情そして互いを受け容れる心を養うことで、世界平和を築いている」と語りました。

自分自身から始まる平和を語り合った広島平和フォーラム

日本のロータリー

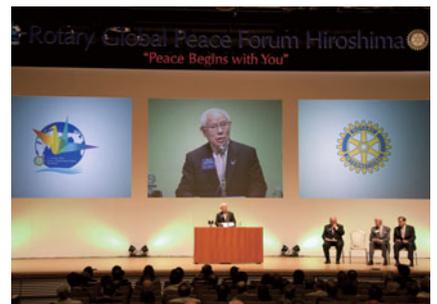
日本のロータリーは、1920年に結成された東京ロータリー・クラブに始まり、その後、大阪や京都、横浜などで次々とクラブが誕生しました。今日では、88,000人のロータリアン、2,285のクラブにまで発展しました。

2011年3月、東日本大震災が発生し、甚大な被害がもたらされました。世界中のロータリアンから多くの援助が寄せられ、災害復興基金には780万米ドルの義援金が集まりました。

ロータリーは長年、平和に力を注いできました。会員は草の根レベルで、飢餓、貧困、非識字など、紛争や暴力の原因となる問題に取り組んできました。また、10年前、グローバルな舞台で活躍できる平和構築者の育成を目指し、「ロータリー平和センター・プログラム」を開始しました。

2002年に始まったこのプログラムでは、毎年110名のフェローが世界各地の大学に設置されているロータリー平和センターで、修士号または専門能力開発修了証の取得を目指し研究に励んでいます。平和センターの一つが設置されている国際基督教大学（東京）からは、これまで70名のフェローが卒業しており、現在は21名が在籍しています。また、日本出身のフェロー25名が、海外のロータリー平和センターに留学しました。

(<http://www.rotary.org/> より)



(写真提供：ロータリーの友)

平和宣言

平和は あなたから始まる

2013年5月18日、於広島

人は誰でも、暴力や迫害、不平等や不条理に苦しむことなく、平和に暮らす権利をもっています。私たちはここに、ロータリー活動の下に団結したリーダーや同胞として、より平和な世界の構築に全力を尽くす決意を宣言します。

私たちは、過去から学び得た知識を指針とし、未来に向かって進みます。私たちは、ほんのいく世代か前に破壊的な戦争の結末を目にした、ここ広島に集いました。深い傷あとを残した戦争から、人々は平和の実現に向けて一丸となって立ち上がり、復興に向けて前進してきました。広島での悲劇を世界は決して忘れてはなりません。また、広島の再生は、国家間の持続可能な平和がもつ変化と癒しの力を証明しています。

平和とは、何もせずに手に入れられるものではないことを、私たちは理解しています。平和は確固たる決意を必要とする生き方そのものです。私たちは、「平和はあなたから始まる」を合言葉に行動し、平和の実現のためには一人ひとりが責任を持たなければならないことを認識します。平和とは、日々の生活で周りの人たちとの調和を心がけ、国籍、政治、宗教や文化の違いを超えた友情を育むことから始まります。また、皆が団結して協力し合えば、若い世代が平和の実現のために行動する意欲を高め、世代から世代へと平和の探求が受け継がれていきます。

私たちには、奉仕を実践して平和な世界を築くという希望があります。人々に奉仕し、支援の手を差し伸べることによって、共感と理解を生み、末永く続く友情を培い、平和構築を目指す人々の力になることができます。ロータリーを通じて、どのように平和構築に貢献できるか考えてみましょう。

- ❖ 2回の世界大戦により悪化した国家関係を立て直すため、ロータリーは国家間での人道的活動や平和活動を促進する国際共同委員会を設置しました。今日、およそ250に及ぶ国際共同委員会が国際理解、親善、平和を促進するために活動しています。
- ❖ 75年以上にわたり、多くの学生とホストファミリーが、ロータリー青少年交換を通じて視野を広げてきました。毎年、約80カ国出身の8,000人以上の学生が、短期あるいは長期の交換を通じて文化間のつながりを築き、国際理解を促進しています。
- ❖ ロータリー財団の平和センターを通じて、これまでに700人以上のロータリー平和フェローが、平和と紛争解決の分野のキャリアで活躍するための土台となる、修士号または専門課程修了証を取得しました。

全員でビジョンを共有し、共に行動を起こしてまいりましょう。

- ❖ 人々との交流の中で、常に平和を築く者となってください。すべての行動において親善と友情を育んでください。
- ❖ 自らの声と意思を表明することで、武力ではなく平和的な紛争解決の手段を選ぶ道を取るよう、議員や政治リーダーに訴えてください。
- ❖ 敵対意識をなくしましょう。歴史的に敵対関係にある国の人々と積極的に友情を築いてください。
- ❖ 若者が持つリーダーシップの可能性を広げ、地域社会に積極的に関与できるチャンスを与えてください。
- ❖ 変化を起こすための人脈を築きましょう。世界には、200を超える国や地域に34,000のロータリー・クラブがあり、各クラブがそれぞれの地域社会で活動しています。「奉仕を通じて平和を」推進するために、ロータリーでの活動にご参加ください。

平和は、ある時点で達成されるものではなく、継続的な活動を通じて少しずつ形づくられるものです。私たち一人ひとりが、平和は可能であると意思表明し、行動することを通じて、平和構築者となることができます。



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

ロータリー世界平和フォーラム広島 参加レポート

ライラセミナー生

孫 明香 (松原中RC)

今回は貴重な世界平和フォーラムに招待してくださって本当にありがとうございました。

私はRYLA研修セミナーの時から正直自分の弱さに気づかされてばかりで、今回選ばれたと知った時、喜びとともにとても驚きました。こんな私が選ばれているのかと思いました。ですが、実際にフォーラムに参加させて頂き、もっと大切なことに改めて気付けたと思います。

世界の平和を築いていくためには、阻害しているものをなくしていくためには、できる・できないではなく、個人の「想い」や「気持ち」が大切なんだと学ぶことができました。

私は今回、プレフォーラム・ワークショップ（テーマ別に5つの会場に分かれて開催）のDセッション『テーマ：地球規模課題にいかに取り組むか～個人のキャリアとして～』に参加させて頂き、大きく2つのことについてみんなでディスカッションしました。平和達成のためにできることと、若者の行動を支える環境についてです。

高校生である私たちにできることは本当に数少ないと最近よく思います。資金も行動範囲もまだまだ小さい私たちです。しかし、みなさんの活動や仲間が広がっていくとしていっている平和活動へ参加したり、将来の目指している仕事を通して伝えていくことは可能だと思います。しかしそこにも小さな壁はたくさんあります。なので今、新世代である私たちの強い想いが大切だと思いました。

また、私たちはまだまだ微力です。なのでロータリアンの方々や社会のみなさんのお力が必要です。私たちの強い想いにもみなさんご協力をお願いしたいという意見も多数ありました。

私は子供に関する職業に就きたいと思っています。つまり新次世代とも言いましょうか。そのためランチョンミーティングでご紹介して下さったポーポキの絵本はとても魅力的でした。子供が考える疑問は、大人や社会にとっても大きな問題であることが多いと思います。そして、新世代である私たちも目をそむけずに考えることが大切だなと感じました。

平和の色は何色でしょうか？

私は人生で2回目の広島でしたが、ヒロシマという場所で、平和についてこんなにもたくさんの方と意見を交わしあえる機会に参加することができて本当に嬉しく思います。

また、最後になってしまいましたが引率してくださった青少年・ライラ委員長 仲峯さん、大変お世話になりました。

皆様、今回は本当にありがとうございました。これからも未来を担う新世代の一員として頑張っていきたいと思いますので、どうかご支援のほどよろしく申し上げます。



ライラセミナー生

陳 暁輝 (和歌山西RC) [和歌山大学・教育学部・文化研究プログラム]

5月17日から5月18日の二日間、三回にわたるロータリー世界平和フォーラムの最後となる広島フォーラムに参加することができ、誠に嬉しく感じています。

この二日間の中で、たくさんの方々が平和という世界中の誰でも望んでいるが、なかなか簡単に手に入れないものについて、熱く語っていました。いろいろな分野、視点から、平和を見ることができることが私の想像をはるかに越えました。グローバル社会から見た平和、情報通信技術から見た平和、児童労働から見た平和、今までこのようなこと一度も考えていませんでした。とても勉強になりました。



平和とは何か？貧困のない世界？違う。戦争のない世界？違う。平和とは、世界中のすべての人が理解しあって、助け合う世界を意味していると私は考えています。なぜ、この世の中、貧困問題があるのか。北朝鮮の貧困問題が最もわかりやすい例だと思えます。2000万の人口が100万の軍隊を養わなければなりません。国民が餓死するにもかかわらず、ミサイルを発射します。政府はお金を国民のために使っておらず、ひたすら軍備に使っています。それは貧困問題の元凶だと思えます。よその国が必ずから、自分を守らないといけなと思っています。いつも被害者のふりしています。なぜこのようなことが起こっているかという、人を信じていないから、信じようともしていないからだと思えます。もし、世界中の国々が信じあって、理解しあうと、貧困問題もなくなるでしょう。

このグローバル化社会では、世界中の人々が日本に来て、勉強することができるようになりました。和歌山にも、たくさんのお小さい留学生が来ています。日本語がわからない、クラスのみならずうまくコミュニケーションとれない、さまざまな悩みを抱えているお小さい留学生がいます。私はその子供たちの悩みを解消するために、ボランティアをやっています。学校行って、日本語を教えたり、一緒に遊んだりしています。一年を経て、私は一つ気になるところがあります。日本人の子どもたちは、よく仲間を心配したり、宿題を分からない子どもに教えたりします。分ち合う、助けあうことがよく見られます。しかし、日本にいる中国人の子どもは違います。あなたは私のものを使ってはいけない、机の間のラインを越えてはいけない、たとえ私のものを拾おうとしても、言いたいことがあれば、ほかの子どもしゃべっているにも関わらず、大声で叫ぶ、やりたいことあれば、相手がやりたいかどうかを聞かず、無理やりやらせます。これらを見て、自己中心主義が感じられます。中国人である私は、とても悲しいです。そして恥ずかしいです。子どもとはいえ、なぜこのような差が出ているのか？人は自分のことを優先に考えるのが正常だともいますが、なぜ人のことを考えないのか？理解しようもしないのか？それは教育に問題があると考えられます。

平和を成し遂げるために、人のことを考えよう、人を理解しようという教育が必要だと思えます。人は白紙のように生まれてきた、そして環境による成長していきます。環境が人を影響する最も大事な要素だと思うので、その環境を変えることができるのは教育だと思えます。戦後の日本は復興の為にまず力を入れたのは教育制度の改革でした。教育の大事さは一目瞭然です。世界中、教育を受けることができない子どもがまだまだたくさんいます。誰かが貧困地域で学校を建てたというニュースがよく見ると思えます。しかし、その学校がちゃんと運営しているのかが分かりません。廃校になったかもしれません。そこで、未来を支える子供たちのために、学校を継続させるために、ロータリアンの方々はなくてはならない大きな力です。もし世界中誰でも良い教育を受けることが出来れば、世界中のだれとでも理解し合うことができるでしょう。戦争や紛争がなくなるでしょう。



この度、広島平和フォーラム参加することができ、本当に嬉しく思っています。2640地区のロータリアンの方々を本当に感謝しています。ロータリーと出会って、私は少しずつ変わって来ました。現在、私は和歌山地区中国人留学生学友会会長を務めています。ロータリー精神を持って、その仕事を通じて、中国人だけではなくより多くの人になりたい、よりよい中国人留学生の姿を日本あるいは世界に見せたいという気持ちがどんどん大きくなって来ました。平和は私から始まります。

二日間、たくさん大切な話を聞かせていただいて、目に焼いてしまう悲惨さを感じる原爆ドームに行かせていただいて、本当にありがとうございました。これからも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

ライラセミナー生

田中 愛日 (松原中RC 松原高校IAC)

広島に一泊二日行って『世界で唯一の被爆国』という残酷な歴史の再確認ができたと思います。

初めての広島で行きの新幹線の中ではお菓子を食べてウキウキ気分でしたが広島に着き、地に足がついたとき『ここに人が埋ったままかもしれない』と思うと観光気分で来るつもりではないと思いました。

原爆ドームは当時実際に本当にあった戦争の中でアメリカによって落とされた原爆の悲惨さが凄く伝わり何も声が出せませんでした。鉄の柵は曲がり、レンガはポロポロでよくこの状態で残っているなと思いました。

今、振り返ってみたら凄くありきたりな言葉でしか表現できていないけど、行って実際に本物を見てわかる物の大きさがとても分かりました。

原爆ドームの前では、おじさんが原爆の熱によって瓦が溶け沸騰したようにブクブクのまま残っている本物の瓦を沢山見せてくれました。説明を聞いていると瓦が溶けるなんて人間じゃとても耐えられる温度でないことが伝わってきました。また、前にある川には何年かに一回か戦争中に使われていたお茶碗やお箸、時には、人の骨が出てくるときがあると聞いていました。原爆は瓦をも溶かすほどの熱さで人は耐えきれずに川に飛び込んだといいます。ですが、川に飛び込んだとき体温がすでに熱すぎ、川の水と一緒に熱くなりすぎてそのまま死んでしまうそうです。原爆を落とされると、そのあとはどうしようもないのです。その話を聞き怖くなりました。当時の人はどんな思いでどれだけ苦しんで何人も

人が亡くなったのか、考えるのも嫌になりました。でも、その原子爆弾投下という過ちをもう二度と繰り返してはいけません。どれだけの人を苦しめてしまうものなのかが広島、長崎への原爆投下によって世界中が学んだことだと思います。

そして、今の私たちにできることは戦争のことを忘れず受け継いでいくことと、原爆の後遺症に苦しむ人やその家族に何ができるかを考えることだと思います。

高校でもなにか出来ることはないか考えたいと思いました。自分達が動かなければいけないと分かりました。その他、美味しいご飯がたくさん食べられてホテルでゆっくり出来たりしたのは凄く思い出に残っています。広島の名物、広島焼きを初めて食べられて感激しました。おいしかったです。

最後にロータリーの皆様、広島に行くという良い機会を設け、さらに参加させていただきありがとうございました。



行事報告

▶ 5月17日(金)～19日(日)

青少年交換広島研修旅行 ～ RIJYEC 主催 第18回日本青少年交換研究会参加～



▶ 5月19日(日)

次年度のための地区協議会 スターゲイトホテル関西エアポート



第2640地区 出席報告 (2013年4月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	4月出席率	平均出席率
	12.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計					12.7.1	4月末	4月	累計	4月	累計			
有田	29	27	0	2	0	4	4	87.99	86.12	大阪狭山	11	10	0	3	1	2	4	79.80	81.64
有田南	32	33	0	1	0	0	4	95.54	91.34	りんくう泉佐野	20	19	0	0	0	1	4	86.11	86.47
有田2000	15	15	0	0	0	0	4	98.33	95.93	堺	67	67	1	4	0	4	4	88.94	89.66
藤井寺しゅら	8	7	0	0	0	1	4	90.00	89.81	堺東	31	31	0	1	0	1	4	98.28	97.58
御坊	48	45	0	0	0	3	4	77.71	79.14	堺北西南西	16	16	0	0	0	0	4	71.66	79.86
御坊東	15	14	2	2	0	3	5	89.23	90.28	堺泉ヶ丘	24	23	0	0	0	1	4	91.30	91.69
御坊南	28	28	0	2	0	2	5	83.41	80.31	堺北	28	29	0	1	0	0	4	87.06	90.80
羽曳野	14	17	1	4	1	1	3	95.57	92.74	堺南	20	20	0	1	0	1	4	88.03	86.46
羽衣	15	14	0	1	0	2	4	92.80	88.89	堺中	21	23	0	2	0	0	4	69.56	71.65
橋本	51	52	2	4	0	3	4	83.14	88.47	堺西	16	16	0	0	0	0	4	84.39	85.53
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	5	94.00	93.95	堺おおいずみ	30	29	0	0	0	1	4	80.54	81.36
岩出	29	29	0	0	0	0	4	87.50	88.72	堺フェニックス	27	25	0	2	0	2	4	89.80	88.38
和泉	25	25	0	0	0	0	4	80.40	83.40	堺清陵	16	16	0	0	0	0	3	95.24	93.93
和泉南	28	29	0	1	0	0	4	63.79	61.77	堺東南	11	10	1	1	0	2	4	97.22	93.08
泉大津	44	43	0	0	0	1	4	80.99	83.77	堺フラワー	32	28	0	5	2	9	4	94.00	95.20
泉佐野	33	33	0	2	0	2	4	83.55	85.92	泉州 KUMATORI	25	41	1	49	30	33	4	100.00	99.00
海南	35	30	0	0	0	5	4	80.00	79.28	新宮	62	61	0	1	0	2	4	84.02	82.72
海南東	55	53	0	3	0	5	4	73.58	76.51	白浜	11	8	0	1	0	4	4	100.00	95.54
海南西	18	19	0	1	0	0	4	84.47	84.51	太子	10	11	0	1	0	0	4	56.80	70.90
貝塚	17	18	0	1	0	0	4	88.24	91.12	高石	29	29	0	0	0	0	4	69.70	75.10
貝塚コスモス	17	15	0	0	0	2	4	78.87	76.09	高師浜	15	15	0	0	0	0	4	88.33	90.78
関西国際空港	18	21	0	5	0	2	4	72.62	77.73	田辺	84	84	0	1	0	1	4	83.70	83.65
河内長野	29	30	0	1	0	0	4	79.10	78.90	田辺はまゆう	48	45	0	1	0	4	4	98.86	86.10
河内長野東	24	26	0	2	0	0	4	80.83	81.19	田辺東	46	52	0	6	0	0	4	95.15	95.33
岸和田	33	32	0	0	1	1	4	78.50	79.38	富田林	37	37	0	0	0	0	4	62.54	74.72
岸和田東	42	40	1	1	0	3	4	95.32	94.45	富田林南	16	15	0	0	0	1	4	75.00	82.36
岸和田北	13	12	0	0	0	1	4	100.00	100.00	和歌山	66	62	0	3	0	7	4	84.39	81.02
岸和田南	15	14	0	0	0	1	3	82.05	83.04	和歌山アゼリア	32	32	0	1	0	1	4	80.47	87.38
粉河	20	18	0	0	0	2	4	97.05	98.31	和歌山東	44	43	0	2	0	3	4	82.35	87.71
高野山	18	17	0	0	0	1	4	91.00	86.50	和歌山城南	37	42	1	7	0	2	4	77.62	85.43
串本	14	14	0	3	0	2	5	57.14	63.60	和歌山北	42	40	0	0	0	2	4	80.84	79.55
松原	26	26	0	0	0	0	4	97.72	98.35	和歌山南	86	84	1	5	0	7	4	77.04	80.24
松原中	21	22	0	2	0	1	4	82.36	80.51	和歌山中	29	29	0	1	0	1	3	83.32	88.21
美原	13	12	0	1	0	2	4	95.80	93.00	和歌山西	16	16	0	1	0	1	4	100.00	100.00
那智勝浦	17	16	0	1	0	2	4	86.67	81.55	和歌山東南	50	50	0	2	0	2	4	79.60	81.05
大阪千代田	0	24	0	34	0	10	4	91.50	90.00	Rotary E-Club Sunrise of Japan	4	22	2	18	0	0	4	100.00	100.00
大阪金剛	22	22	0	0	0	0	4	89.80	88.40										

クラブ	7月1日クラブ会員数				4月末クラブ会員数				4月平均出席率	入会		退会	
	男性	1915	女性	148	男性	1914	女性	168		4月	累計	4月	累計
73	2063				2082				85.32	13	194	35	170

【7月1日入会7名】

【7月1日退会2名】

【大阪千代田RC 8月22日RI加盟認証】

【12月21日付けにて泉南ロータリークラブがRI から脱会しました】